

07 | Gain [ゲイン (保水ブロック)]

クールブロックペイブ®

一般社団法人
インターロッキングブロック舗装技術協会
(JIPEA) 認定準拠品

土のような保水性が
ヒートアイランド現象緩和にも貢献



田町歩道：再開発によって整備された芝浦公園と隣接する母子専門病院は、地域の人が集う拠点。ここを囲む歩道は、保水ブロック「ゲイン」で舗装されています。

自然の水循環をお手本にした 保水性ブロックの決定版

酷暑の夏、アスファルトで固められた舗装面において、厳しい照り返しが地表温度をますます上昇させます。それが「ヒートアイランド現象」。その対策として生み出されたのが、保水性ブロックです。雨天時、まるで土のようにたっぷりと水を蓄えた保水ブロックは、熱暑時にその水分を蒸発させ、気化熱によって周辺の気温を低下させる働きを持ちます。日当たりの良い遊歩道などにふさわしい、環境共生型の舗装材です。



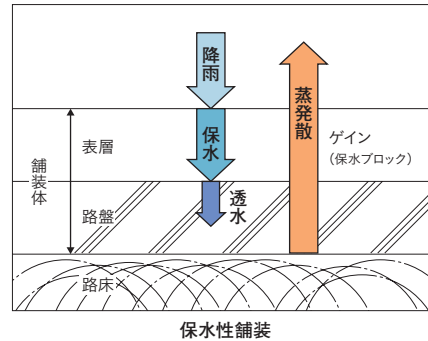
Feature

[特長]

地下水を涵養し、 樹木に優しい環境舗装材

ゲインの保水機能は、周辺の樹木環境にも貢献し、大量の雨水が下水道や河川へと流入するのを抑えることができるため、都市型洪水の予防にも力を発揮。雨天時の快適な歩行も約束します。

保水性舗装の概念図



Test Data

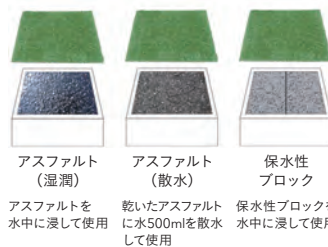
[試験データ]

校庭などに人工芝を敷設した場合、夏場に表面温度が80℃を超えるような状況を改善するために保水ブロックを下地に施工する計画のための実験結果です。

室内試験場においての 実験方法

各材料の上に人工芝を被せ、
上から赤外線ランプで照射し、
表面にセンサーを設置。

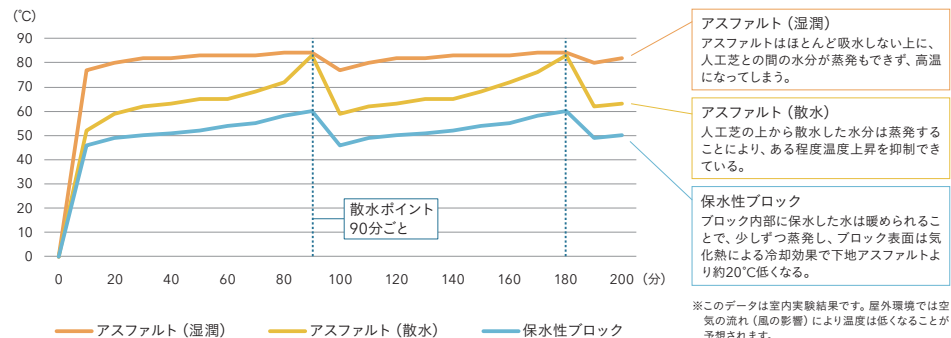
- 発泡スチロールで下記3種類の材料を囲み
- 人工芝を被せる



- 同じ条件下で赤外線ランプで加熱
- 人工芝の表面温度をセンサーによって連続測定

温度差はマイナス20℃を 実現。

下地施工に保水性ブロックを
適用した場合の人工芝表面温
度測定結果



※このデータは室内実験結果です。屋外環境では空気の流れ(風の影響)により温度は低くなることが予想されます。

[試験データ]

試験項目	物性値	規格値	試験方法
曲げ強度(N/mm)	4.2	3.0以上	JIS A 5371
保水量(g/cm)	0.19	0.15以上	JIS A 5371
透水係数(m/s)	2.1×10^{-4}	1×10^{-4} 以上	JIS A 5371
すべり抵抗値(BPN)	74	歩道 40以上	JIEPA TM 6
		歩道以外 60以上	

※凍結融解抵抗性は普通ブロックと同程度です。

※各物性値は最近のデータより求めた平均値です。

※特注として曲げ強度5.0以上も可能です。詳細は営業担当までお問い合わせ下さい。

Color Variation

[カラーバリエーション]



G01



G02



G03 クールブロックペイプ® 認定色



G05



G09



G10



G11



G12



G13



G14



G15



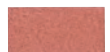
G18

Pattern Variation

[組み合わせ例]



A



G05(20%)



G12(40%)



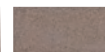
G14(40%)



B



G15(20%)



G18(80%)



C



G01(10%)



G02(20%)



G14(70%)



D



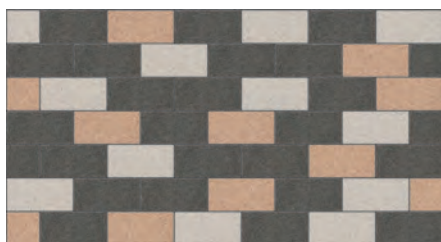
G10(25%)



G12(25%)



G13(50%)



E



G01(25%)



G03(50%)



G13(25%)



F



G01(50%)



G09(25%)



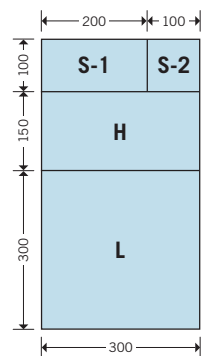
G15(25%)

*製品の色は印刷のため、実際の色調とは異なる場合があります。
*セメント製品は現場環境によって白華が発生する場合があります。

Product Information

[製品情報]

Gain 製品概要



型式	規格寸法 (mm)	使用量 (個/㎡)	重量 (kg/個)
L	300×300×60 (80)	11.1	10.6 (13.9)
H	300×150×60	22.2	5.3
S-1	200×100×60 (80)	50	2.3 (2.9)
S-2	100×100×60 (80)	100	1.1 (1.5)

*ゲインは受注生産品です。

詳細は営業担当までお問い合わせ下さい。



シンボルプロムナード公園 (国際展示場駅横)